

ISS・きぼう ウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 460



(左) 古川宇宙飛行士帰還後記者会見（出典：JAXA）（右上）ソユーズ宇宙船の試験に臨む星出宇宙飛行士ら 29S バックアップクルー（出典：JAXA/GCTC）
(右下) 打上げに向けたセレモニーに参加する 29S 搭乗クルーと星出宇宙飛行士らバックアップクルー（出典：JAXA/NASA）

トピックス

古川宇宙飛行士は米国ヒューストンから帰還後初の記者会見に参加

11月30日夜、古川宇宙飛行士はJAXAヒューストン駐在員事務所と東京事務所をテレビ会議で接続して行われた帰還後記者会見に参加しました。

古川宇宙飛行士は、記者会見の冒頭で「皆様のおかげで約5ヶ月半の国際宇宙ステーション(ISS)長期滞在を無事終えることができました」と感謝を述べるとともに、「最初からすべて100%うまくいった訳ではないが、チームワークで乗り切

ることができました。そのような経験を通して、人が宇宙に行って仕事を行うこの大切さを学びました」とISS長期滞在について語りました。また、報道関係者からの大気圏再突入時の心境やリハビリに関する質問などに答えました。

今後、古川宇宙飛行士はNASAジョンソン宇宙センター(JSC)にて医学検査やリハビリを引き続き行うとともに、ISS長期滞在に関する技術報告会の準備などを

行う予定です。

ホームページでは、古川宇宙飛行士のISS長期滞在中における活動をまとめた総括ページを掲載していますので、ぜひご覧ください。

Website info

古川宇宙飛行士帰還後記者会見

http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/news/111130_press.html

古川宇宙飛行士長期滞在総括

http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/result/

古川宇宙飛行士 Twitter で最新情報をチェック！

http://twitter.com/Astro_Satoshi

星出宇宙飛行士は 29S バックアップクルーとしての最終試験に合格

星出宇宙飛行士は、11月29日から30日にかけてロシアのガガーリン宇宙飛行士訓練センター(GCTC)で行われたソユーズ宇宙船(29S)のバックアップクルー(搭乗クルーの交代要員)としての最終試験に、サニータ・ウィリアムズ、ユーリ・マレンченコ両宇宙飛行士とともに優秀な成績で合格しました。

12月1日、29S 搭乗クルーと星出宇宙飛行士らバックアップクルーは、GCTC で

行われた記者会見に出席した後、モスクワのクレムリンにて、ユーリ・ガガーリン宇宙飛行士などロシア(旧ソ連)の宇宙開発に貢献した人々の名前が刻まれたクレムリンの壁の前に赤いカーネーションを捧げるなど、打上げ前の伝統的なセレモニーに参加しました。

29S 搭乗クルーと星出宇宙飛行士らバックアップクルーは、打上げ前の短い休暇を取得した後、12月8日にカザフス

タン共和国のバイコヌール宇宙基地に移動し、打上げに向けた最終準備に入る予定です。

星出宇宙飛行士は、自身のTwitterにて最新情報を随時ツイートしていますので、ぜひご覧ください。皆様のフォローをお待ちしています。

Website info

星出宇宙飛行士 Twitter で最新情報をチェック！

http://twitter.com/Aki_Hoshida



GHF の初期動作確認、船外実験装置の観測運用などを引き続き実施

「きぼう」日本実験棟船内実験室では、勾配炉ラックの温度勾配炉 (GHF) の初期動作確認を引き続き行っています。

GHFは半導体材料の結晶成長実験などを行うための装置です。GHFの動作確認完了後には、GHFを使用した初の実験で

ある「微小重力下におけるTLZ法による均一組成SiGe結晶育成の研究」(Hicari) を開始する予定です。

船外実験プラットフォームでは、宇宙環境計測ミッション装置 (SEDA-AP) と全天X線監視装置 (MAXI) の観測運用が

続けられています。

Website info

温度勾配炉 (GHF)

<http://kibo.jaxa.jp/experiment/pm/ghf/>

Hicari実験紹介ページ

<http://kibo.jaxa.jp/experiment/theme/first/hicari/>

「きぼう」での実験 (各実験の詳細はこちら)

<http://kibo.jaxa.jp/experiment/>

今週の国際宇宙ステーション



最初のISS構成要素打上げから 4764 日経過

クルーは ISS 長期滞在のための各種確認作業を実施

第30次長期滞在クルーのバーバンク宇宙飛行士らは、科学実験やメンテナンス作業と並行して、国際宇宙ステーション(ISS)で緊急事態が発生した場合の対応手順や避難ルートなどISSの安全に関わる確認や、ISS船内の装置の確認などの作業を行いました。

12月1日、「ズヴェズダ」(ロシアのサービスモジュール)のエンジンを使用した

ISSのリブースト(軌道上昇)が行われ、ISSの平均軌道高度は1.82km上昇して約392kmとなりました。12月9日に2回目のリブーストが予定されており、ISSはソユーズ宇宙船(29S)のドッキングに適した軌道高度に調整されます。

新たにISS長期滞在クルーに加わるコノネンコ宇宙飛行士らを乗せた29Sは、12月21日にロシアのソユーズロケット

により、カザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地から打ち上げられ、12月24日にISSへドッキングする予定です。

Expedition 30 Crew

ISS滞在 20日経過

ダニエル・バーバンク (コマンダー、NASA)

アントン・シュカブレロフ (ロシア)

アナトリー・イヴァニシン (ロシア)

12月24日からISS滞在開始予定

オレッグ・コノネンコ (ロシア)

アンド烈・カイバース (ESA)

ドナルド・ベティ (NASA)

インフォメーション

第30回宇宙ステーション利用計画ワークショップ開催、参加者募集

JAXAは、東日本大震災により開催を延期していた「第30回宇宙ステーション利用計画ワークショップ」を12月16日(金)午後1時から東京都港区の日本学術会議講堂にて開催します。

今回のワークショップでは、「きぼう」日本実験棟の最新の利用状況や成果のほ

か、今後の「きぼう」利用の方向性などについて紹介します。また、国際パートナー各国のISSの利用成果や最新の利用計画の紹介を通じて、今後の国際協力ミッションなどについて議論する予定です。

本ワークショップは一般の皆様もご聴講頂けます(参加費無料、先着300名)。

プログラムの詳細や参加申し込み方法はホームページをご覧ください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

Website info

第30回宇宙ステーション利用計画ワークショップの開催について

http://kibo.jaxa.jp/experiment/news/111216_utiliz_ws30.html

more information



- ▶ 宇宙にいる星出さんと話そう！ 交信イベントや映像収録などの企画提案募集(2012年1月6日(金)まで)

http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/hoshide/news/event_kousin.html

2012年6月頃から国際宇宙ステーション(ISS)に約6ヶ月間長期滞在する星出宇宙飛行士との交信イベントおよび映像収録企画の提案を募集しています。応募方法などの詳細はホームページをご覧ください。多くの皆様からのご応募をお待ちしています。

- ▶ SPACE@NAVI-Kibo WEEKLY NEWS http://iss.jaxa.jp/library/video/category/WEEKLY_NEWS

「きぼう」日本実験棟や国際宇宙ステーション(ISS)の最新情報を映像でお届けするWi-Fiクリービデオニュースはこちらをご覧ください。

ISS・きぼうWi-Fiクリーニュース 第460号

問い合わせ先：宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

Wi-Fiクリーニュースマーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼうWi-Fiクリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本Wi-Fiクリーニュースから転載した旨を記述ください。